

院内助産システム

当院では 2008 年より院内助産システムを導入しております。
これまで院内助産を希望される方は徐々に増えてきており、このシステムで出産された方からは御好評いただいております。

今回、院内助産システムについてご紹介したいと思います。

* 院内助産システムとは・・・

日本で昔からあるアットホームな助産所と、医療設備のある病院内でのお産という両方の良さを兼ね備えたシステムです。

お産が正常に進行している場合、産婦さん、ご家族と助産師で力を合わせてお産をします。医師の立会い、必要以上の医療行為はありません。しかし、お産の途中で異常となった場合は、すぐに産科医師、小児科医師に連絡して立ち会ってまいります。

妊婦健診では担当助産師がよいお産に向かっての体作りのために細やかな保健指導を行います。自分の意思を持ってお産に臨みたいと思われる方を応援するシステムです。

* 院内助産システムのながれ

院内助産が可能かどうかには対象基準があります。

妊娠 1 2 週頃に院内助産システムについて外来でご説明し、システム利用希望の有無を確認します。その時点で利用を希望されれば、そのまま当院で妊婦健診を行います。一度セミオープンシステムに戻られる方でも、院内助産システム利用の希望があれば、妊娠 20 週頃の健診より当院に戻ってきていただきます。

↓
担当助産師による保健指導、医師による妊婦健診を行います。

↓
出産：院内助産チームのスタッフが担当します。

↓
育児サポート外来：産後 2 週間ころ受診していただき、授乳、育児の状況を確認します。システム担当の助産師が行います。

↓
産後健診：産後 1 ヶ月ころに受診していただき、授乳、育児の状況を確認します。システム担当の助産師が行います。



お産は本来自然なもの・・・自宅にいるような感覚で出産できたらいいと思いませんか？

そんな考えのあなたにおすすめします。里帰り分娩予定の方は妊娠初期にお電話でご相談ください。

お問い合わせは 新周産期センター外来(内線 2272)までお願いします。 平成 26 年 7 月更新